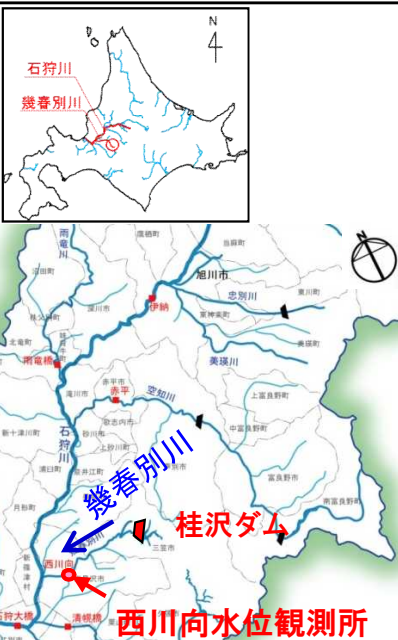


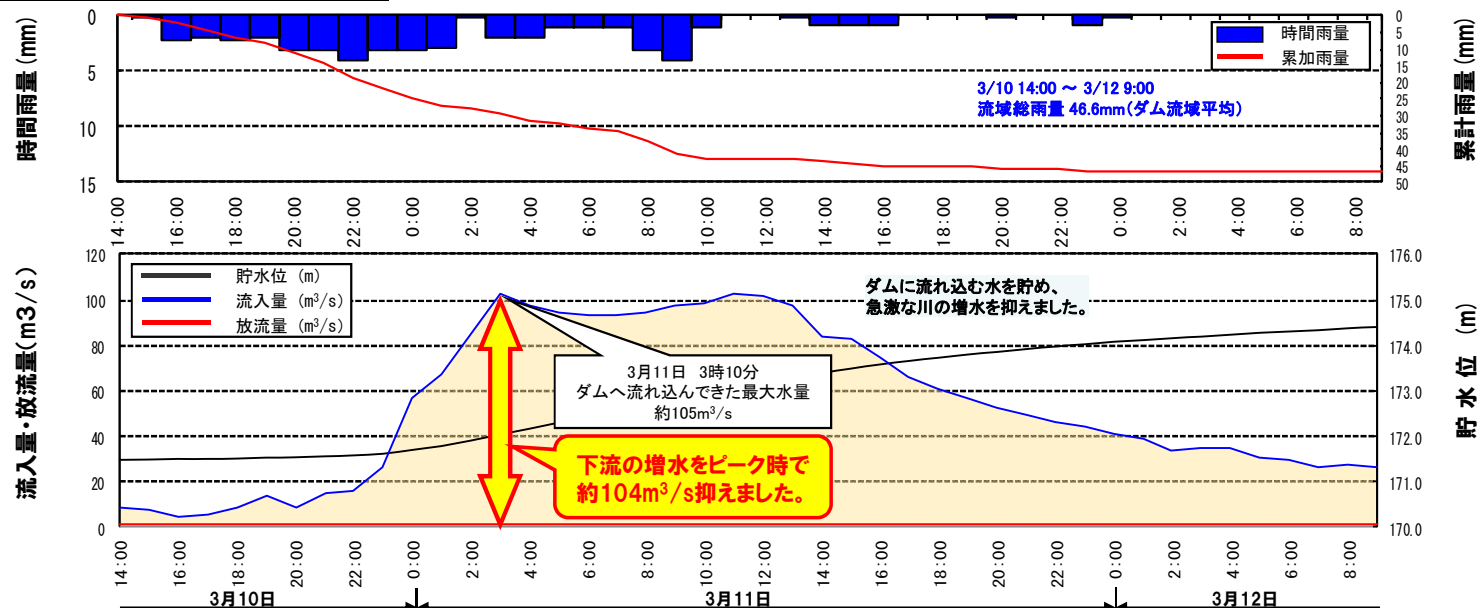
ダム整備が効果を発揮 (北海道 桂沢ダム)

- 令和2年3月10日からの降雨と融雪による出水により、桂沢ダムにおいては、洪水量を超える流入量を観測しました。
 - このため、桂沢ダムでは、10日14時から12日9時までに、約826万 m^3 (札幌ドーム約5.2杯分)の水を一時的に貯留することで下流河川の水位低減を図り、下流の岩見沢市(西川向水位観測所)では、水位を約2.2m低減させたものと推測されます。
 - 仮にダムが整備されていなければ、はん濫注意水位*を上回る出水となっていたことが推測されます。
- * はん濫注意水位：河川のはん濫の発生を注意する水位。

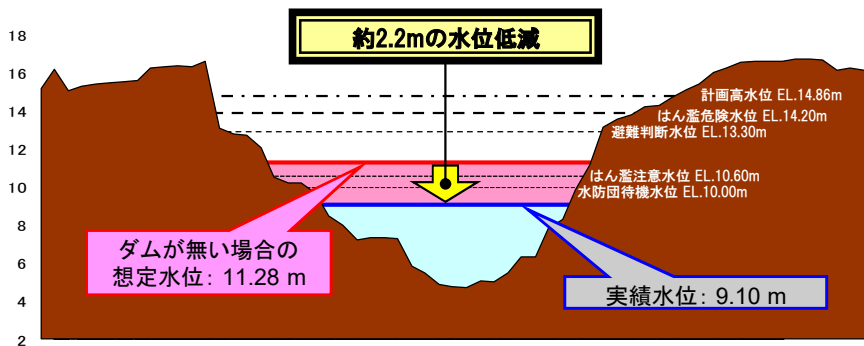
位置図



桂沢ダムの防災操作



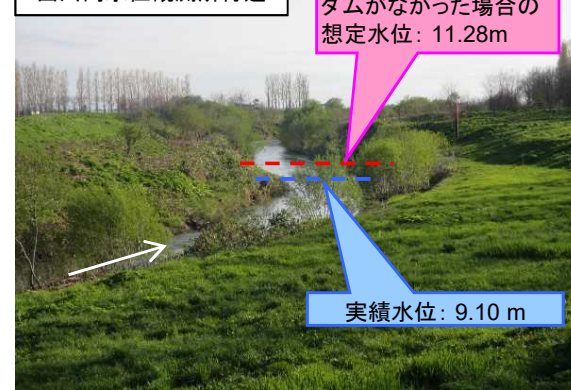
西川向水位観測所における水位低減効果



桂沢ダム貯水状況



西川向水位観測所付近



※本資料の数値等は速報値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。